

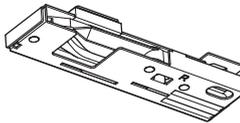
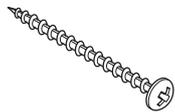
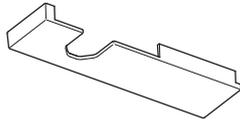
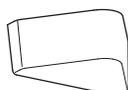
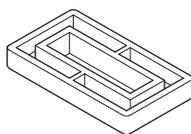


●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願い

- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)

■部品・部材の明細

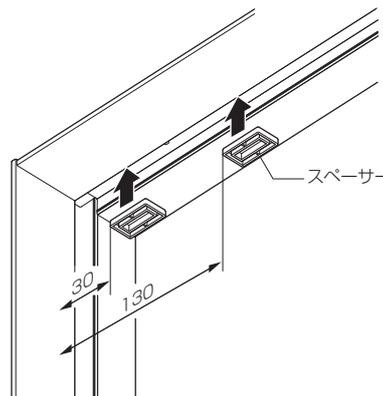
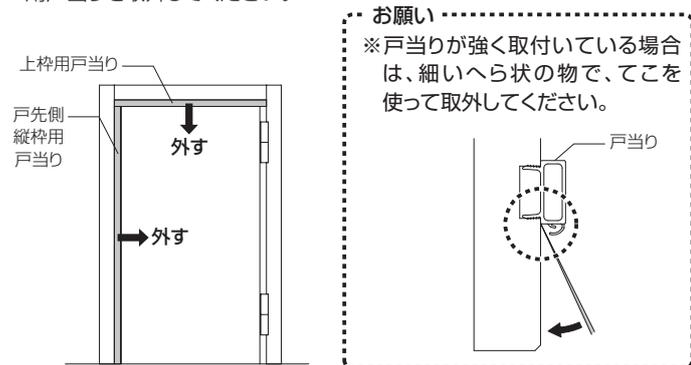
				
クローザー×1個	ストライカ×1個	トラスタッピンねじφ4×50 クローザー取付けねじ×2本	型紙×1枚	クローザーカバー×1個
				
ストライカカバー×1個	トラスタッピンねじφ4×25 ストライカ取付けねじ×2本	スペーサー×2	取付け説明書×1枚	

■取付け順序(以下手順は右吊元の場合を示します。)

1 クローザーの取付け

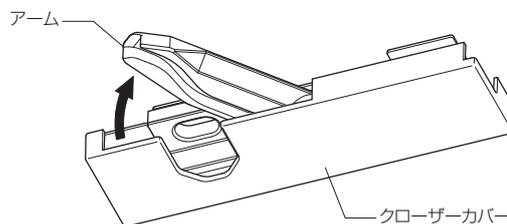
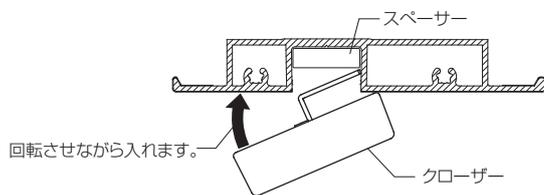
①既にドア枠が取付いている場合は、戸先側縦枠用戸当りと上枠用戸当りを取外してください。

②上枠のクローザー取付け部にスペーサーを貼り付けてください。



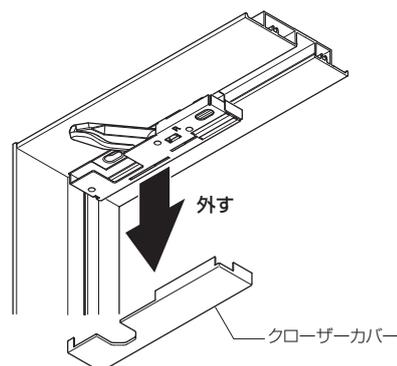
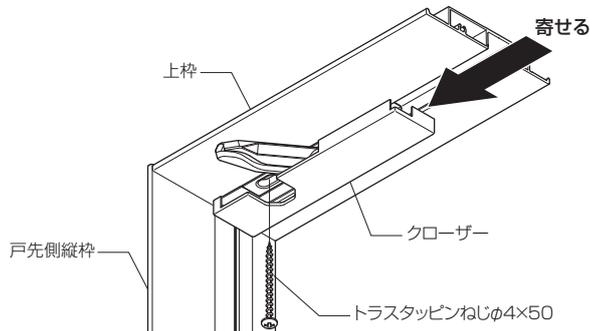
③上枠溝部にクローザーを入れてください。

④クローザーカバーを付けたままで、アームを引出してください。

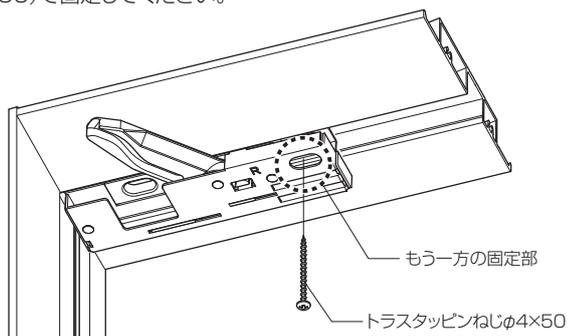


⑤上枠と戸先側縦枠のコーナー部にクローザーを寄せて、同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で固定してください。

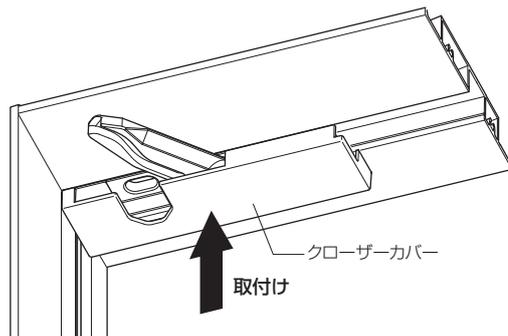
⑥クローザーカバーを取外してください。



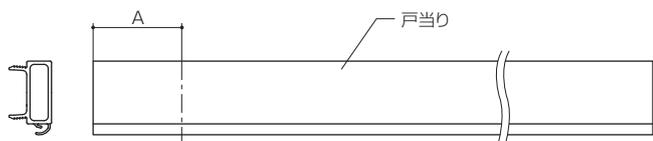
⑦クローザーのもう一方の固定部を、同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で固定してください。



⑧クローザーカバーを取付けてください。



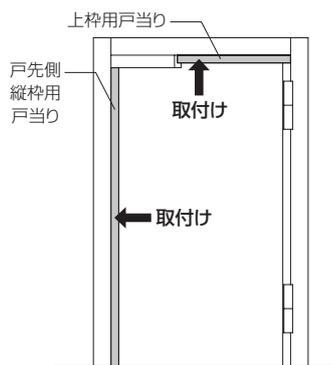
⑨戸当りを切断加工してください。



■加工寸法

	A
縦枠用戸当り	5mm
上枠用戸当り	160mm

⑩戸先側縦枠用戸当りと上枠用戸当りを取付けてください。

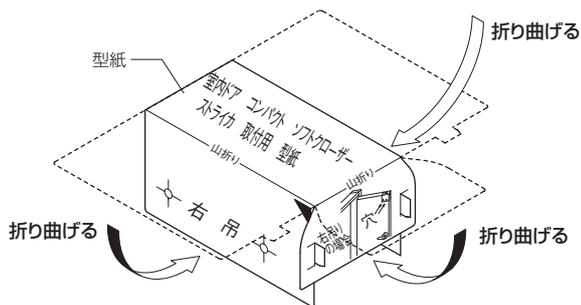


お願い
 ※戸当りの取付けに接着剤を使わないでください。接着剤で固定すると、クローザー交換時に手間がかかります。(クローザーがあるため、接着剤固定は不要になります。)

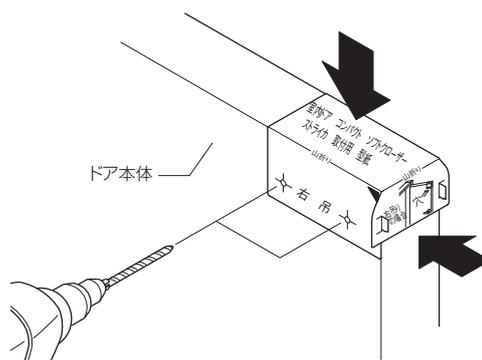


2 ストライカの取付け

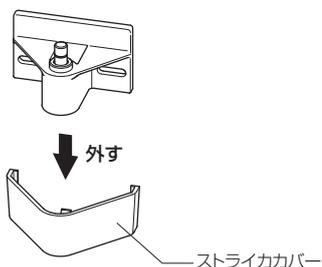
①型紙を折り曲げて、下図の形にしてください。



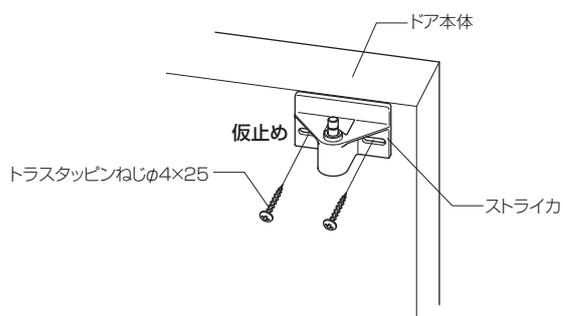
②ドア本体の戸先上コーナーに型紙をかぶせ、下穴φ3×深さ20(アルミドアの場合はφ3.5片面貫通)をあけてください。



③ストライカカバーを取外してください。

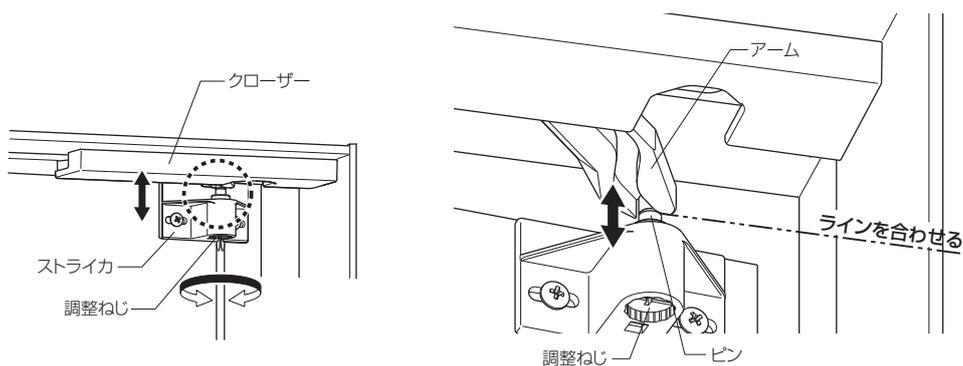


④ドア本体にストライカを同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×25)で仮止めてください。

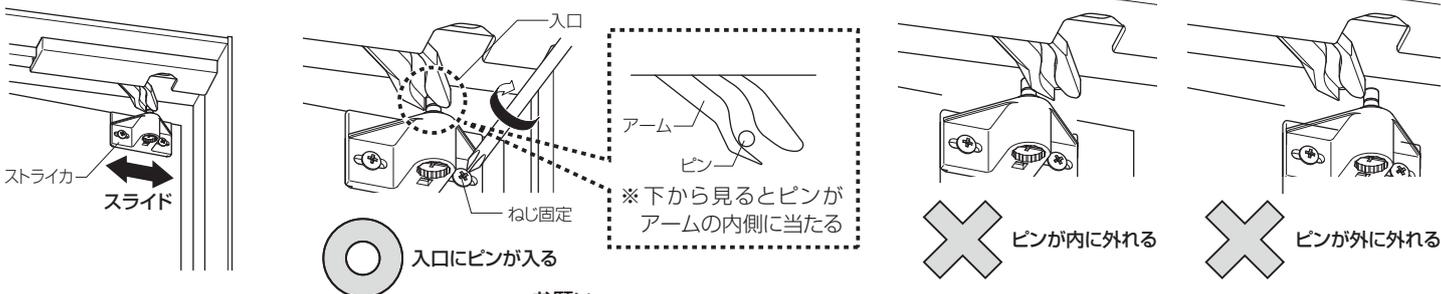


3 ストライカの位置調整

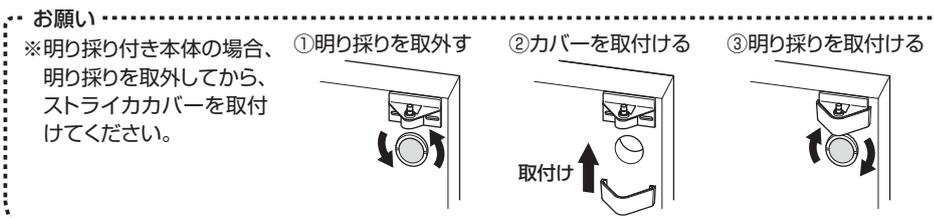
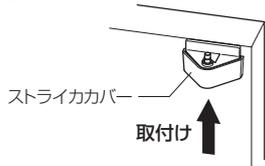
①ストライカ下面の調整ねじを回して、ピンのラインがクローザーのアームの下面に合うように調整してください。



②ストライカを左右にスライドさせてアームの入口にピンが入る位置でねじを固定してください。

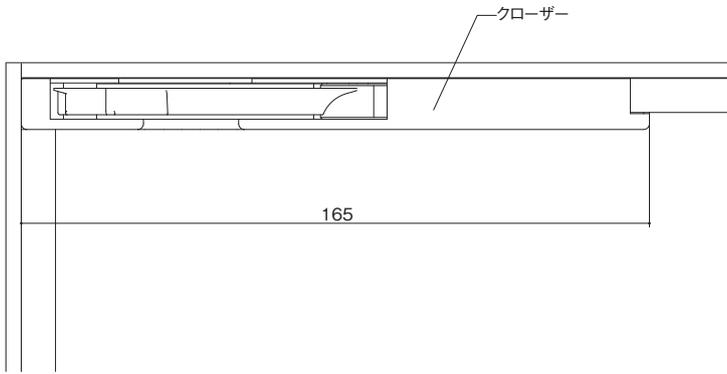


③ストライカカバーを取付けてください。

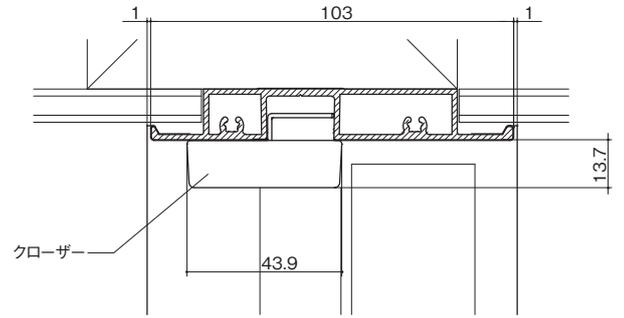


■ソフトモーション機能異常時の対処方法

現象	要因	対処		参照
閉まりきらない	アームとストライカの位置ズレ	上下方向	上下調整でストライカのラインとアームの下面を合わせてください。	3 ①参照
		左右方向	アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピンが通過するように合わせてください。	3 ②参照
	極端に強い換気扇や風が吹いている	・換気扇を弱める。 ・強風が入ってこないように窓を閉める。		-
	クローザーカバーとストライカが接触している	丁番の上下調整でドアを下げてください。		室内ドアの取付け説明書を参照をお願いします。
ドア本体が反っている	丁番の建付調整を行なった上で、ストライカの調整を行なってください。改善されない場合、ドア本体の交換が必要です。			室内ドアの取付け説明書を参照をお願いします。
(開けるとき)アームが戻る ※誤作動時の復帰は一度ドアを強く閉めると戻ります。	アームとストライカの位置ズレ	上下方向	上下調整でストライカのラインとアームの下面を合わせてください。	3 ①参照
		左右方向	アームの入口の丁番側の面ぎりぎりにピンが通過するように合わせてください。	3 ②参照
ブレーキの効きが個所ごとに違う	- (商品特性上)	本体の重量、建付け、風の強さ・向きにより同一にはなりません。		-
ブレーキが全く効かない	ダンパーの破損	クローザーの交換が必要です。		-
	ストライカピンの故障	ストライカの交換が必要です。		-
強く閉めると丁番部があおる	- (商品特性上)	商品品質上問題ありません。ただし、繰返し行なうと丁番取付け部がグラツキますので、お控えください。		-



〔正面図〕



〔縦断面図〕